

6 東広島市教育委員会事務事業評価委員会の概要

平成 22 年 9 月 3 日に「東広島市教育委員会事務事業評価委員会」を開催しました。委員会での質疑応答、評価の概要を掲載します。

※「委員」…東広島市教育委員会事務事業評価委員会委員

「事務局」…東広島市教育委員会事務局

質疑応答

教育交流事業（1 ページ）

委員：北広島市、中国徳陽市との交流のほかに、新たな交流を考えているか？

事務局：市の姉妹都市、友好都市との交流を図ることを主な目的のひとつとしているため、現在の交流を継続していきたいと考えている。

小学校大規模改造事業（13 ページ）

委員：学校の耐震化率については、社会的にも非常に関心が高い。平成 22 年度の耐震化率の目標値は？

事務局：80%を目標としている。広島県は全国的に見て、耐震化率が低いと言われているが、本市の耐震化率は、県内では 3 番目。

委員：耐震化の問題は保護者の関心も高いところなので、しっかり対応してもらいたい。

事務局：早急に耐震化が必要とされる建物（Is 値 0.3 未満、q 値 0.5 未満）が、市内の学校には 21 棟あり、このうち 5 棟の耐震化工事を平成 22 年度中に行う予定。

小学校、中学校、幼稚園教育補助員配置事業（25、31、37 ページ）

委員：特別支援学級に在籍する児童・生徒は増加傾向にあるのか。

事務局：増加している。特別支援学級には在籍していないが、配慮が必要な児童・生徒についての対応が、今後の課題と考えている。

小学校児童通学費助成事業（29 ページ）、中学校生徒通学費助成事業（35 ページ）

委員：通学費の保護者負担が一番多いところはどこか。

事務局：現状では、高屋中学校の造賀地区で、月額 2,600 円程である。

委員：スクールバスの費用も高くなっているようだが、対応策は？

事務局：以前は、スクールバス運行の委託料の 3 割を利用者で人数割りしていたが、利

用者数が減り、個人負担が増えてきたため、スクールバスの運行コースと同等の民間バスの定期代を目安に、その3割を負担してもらっている。

学校教育推進事業（41 ページ）

委員：全国のトップランナーを目指しているなかで、全国学力・学習状況調査の結果についての、教育委員会の見解を聞きたい。

事務局：全国、広島県平均よりも高い結果が出ているが、学校、個人によっては、まだまだ学力を上げていかなければいけないという状況もある。今後も日本一の教育都市を目指して取り組みたい。

委員：県内では、小学校よりも中学校の方が、正答率が下がる傾向があるようだが、東広島市はどうか。

事務局：本市では、中学校の全ての項目で全国平均を上回っており、小学校よりも正答率は高いという結果が出ている。中学校での応用問題に対する学力が、しっかりついていると考えている。

学校の元気応援事業（45 ページ）

委員：和文化教育については、方々から良い評価を耳にしている。

小学校、中学校図書整備事業（61、63 ページ）

委員：予算現額に対して支出済額（決算額）が少なくなっているのはなぜか。

事務局：緊急経済対策の補助金により予算の増額補正を行ったのが2月で、年度内にすべてを執行できず、翌年度に繰り越したためである。

委員：寄附を受けたものも、蔵書数に含めているのか。

事務局：含めている。

生徒指導推進事業（67 ページ）

委員：心の教育総合アドバイザーが不足しており、一人当たりの負担が多い。人数を増やせないか。

事務局：学校でのいじめ、不登校などの問題に加え、虐待の事案を抱えているアドバイザーもおり、負担は大きい。今後の検討課題としたい。

地区公民館管理運営事業（83 ページ）、地区公民館活動事業（87 ページ）

委員：平成23年度から、公民館が地域センターへ移管されるとあるが、生涯学習の専門員等の職員はどうなるのか。

事務局：職員も市長部局へ所管が移動することになるが、現在公民館で行っている講座などは、引き続き教育委員会が実施する。

委員：公民館と地域センターの違いはどこか。

事務局：どちらも生涯学習の拠点であり、地域の拠点であるという意味では変わらないと考えている。

委員：生涯学習活動について、マンネリ化してきているという状況があるようだが、公民館という施設が変わるのをひとつのきっかけとして、生涯学習を活性化させようという考えはないか。

事務局：地域によって人口規模の差が激しいので、それぞれの地域に合った活動をするために、公民館職員をバックアップする体制を作っていくたい。

委員：生涯学習は施設を作るだけでは意味が無い。人材の育成に力を入れてもらいたい。

スポーツ団体育成事業（91 ページ）

委員：「総合型地域スポーツクラブ」とは、どんなものか。

事務局：現在活動しているスポーツクラブのほとんどは、一種類のスポーツを行っているのに対し、総合型地域スポーツクラブは複数のスポーツを行うスポーツクラブである。やりたい競技があるのに、やる場所や機会がないという状況を解消するために、啓発活動を進めている。

美術館管理運営事業（99 ページ）

委員：美術館の施設的な問題は、去年の事務事業評価でも挙がっていたが、改善されていないのか。

事務局：美術館が必要であるという共通認識は持っているが、市の中で他に大きな事業があり、美術館の改修等を優先的に行うことは難しい状況である。

総合評価

○たくさん事業と、課題を抱えていることがよく分かった。

○全国のトップランナーを目指すという思いを強く感じた。弾力性のある人材を育成してもらいたい。

○それぞれの事業でそれぞれ成果を上げているが、事業によっては拡大するものと、縮小するものとメリハリを付けられればよい。

○平成 21 年度の事務事業については高く評価する。評価シートも見やすいものになっている。